

# 定期作況報告

(平成23年5月20日現在)  
北海道立総合研究機構 農業研究本部  
上川農業試験場 天北支場

## I 気象概況

平成22年11月1日から平成23年5月20日までの気象は以下のように推移した。

- 11月**：平均気温は中旬が3.8℃(対平年比+2.4℃)、下旬が2.7℃(+3.1℃)と平年より高かった。降水量は中旬が17.5mm(47%)、下旬が19.5mm(49%)と平年より少なかった。日照時間は上旬が14.3時間(55%)と少なく、中旬は36.8時間(181%)と多かった。
- 12月**：平均気温は上旬が1.1℃(+4.2℃)、下旬が-2.1℃(+3.3℃)と平年より高かった。降水量は上旬が10.5mm(35%)、下旬が11.5mm(36%)と平年より少なかった。日照時間は中旬が11.5時間(65%)と平年よりやや低かった。
- 1月**：平均気温は上旬が-7.1℃(-1.6℃)と平年より低く、下旬が-7.3℃(-0.7℃)と平年よりやや低かった。降水量は3旬とも平年より少なかった。日照時間は3旬とも平年より長かった。
- 2月**：平均気温は3旬とも平年より高かった。降水量は3旬とも平年より少なかった。日照時間は上旬は39.1時間(142%)、下旬が40.7時間(158%)と平年より長かった。
- 3月**：平均気温は上旬が-3.4℃(+1.1℃)、中旬が-0.5℃(+1.0℃)と平年よりやや高かった。降水量は上旬が8.5mm(44%)、下旬が5.5mm(30%)と平年より少なかった。日照時間は下旬が83.1時間(185%)と平年より長かった。
- 4月**：平均気温は上旬が5.2℃(+3.5℃)と平年より高かった。降水量は上旬が6.0mm(59%)と平年より少なかったが、中旬は29.5mm(197%)と平年より多かった。日照時間は上旬が74.9時間(142%)と平年より長く、下旬が38.2時間(69%)と平年よりやや短かった。
- 5月**：平均気温は上旬が5.4℃(-2.1℃)中旬が7.4℃(-2.0℃)と平年より低かった。降水量は上旬が39.5mm(185%)と平年より多かった。日照時間は上旬が27.4時間(51%)と平年より短かった。

本年の降雪始は平年並の10月26日で、根雪始は12月7日と16日遅かった。融雪期は4月8日と平年より8日早く、積雪期間は平年より21日短い124日であった。

4月からの主要気象要素積算値は、平均気温は平年並に、降水量は平年よりやや多く、日照時間は平年よりやや短く、畑地温は平年よりやや低く推移している。

### a. 季節表

項目	降雪始 (月.日)	根雪始 (月.日)	融雪期 (月.日)	降雪終 (月.日)	積雪期間 (日)	耕鋤始 (月.日)	晩霜 (月.日)
年次							
本年	22年 10. 26	22年 12. 7	23年 4. 8	23年 5. 15	124	23年 4. 18	23年 5. 15
平年	10. 26	11. 21	4. 16	5. 4	145	4. 24	5. 12
比較	0	16	△8	11	△21	△6	3

B. 気象表

項目 月旬	平均気温(°C)			平均最高気温(°C)			平均最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hrs)			畑地温(10cm,°C)			最多 風向	平均風速 (m/s)
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較		
22年 上	5.4	5.5	△0.1	8.2	9.1	△0.9	1.9	1.9	0.0	54.5	35.0	19.5	7	6	1	14.3	26.1	△11.8	5.9	6.1	△0.2	ESE	3.9
11月 中	3.8	1.4	2.4	7.4	4.3	3.1	0.6	-1.5	2.1	17.5	37.2	△19.7	6	7	△1	36.8	20.3	16.5	4.1	4.5	△0.4	ESE	2.7
下	2.7	-0.4	3.1	5.3	2.4	2.9	-0.1	-3.6	3.5	19.5	39.5	△20.0	5	7	△2	18.4	20.9	△2.5				S	3.4
12月 上	1.1	-3.1	4.2	3.6	-0.4	4.0	-1.7	-6.2	4.5	10.5	29.9	△19.4	4	7	△3	19.1	19.2	△0.1				ESE	3.7
中	-3.6	-4.4	0.8	-0.8	-1.7	0.9	-6.5	-8.0	1.5	29.5	28.9	0.6	7	7	0	11.5	17.6	△6.1				W	2.6
下	-2.1	-5.4	3.3	0.3	-2.6	2.9	-6.0	-9.1	3.1	11.5	32.1	△20.6	3	8	△5	20.8	19.2	1.6				E	4.4
23年 上	-7.1	-5.5	△1.6	-4.5	-2.6	△1.9	-10.1	-9.1	△1.0	7.5	26.0	△18.5	3	6	△3	28.9	15.4	13.5				NE	3.2
1月 中	-6.0	-7.3	1.3	-3.2	-4.3	1.1	-10.1	-11.0	0.9	4.0	17.2	△13.2	4	6	△2	32.0	17.2	14.8				NW	2.9
下	-7.3	-6.6	△0.7	-3.8	-3.5	△0.3	-11.7	-10.6	△1.1	4.5	20.8	△16.3	5	7	△2	40.3	23.2	17.1				NE	2.2
2月 上	-3.9	-7.2	3.3	0.2	-3.6	3.8	-9.1	-11.3	2.2	2.5	16.3	△13.8	3	7	△4	39.1	27.5	11.6				W	3.1
中	-3.7	-7.3	3.6	-0.6	-3.7	3.1	-7.9	-12.0	4.1	2.0	26.4	△24.4	3	7	△4	32.1	30.4	1.7				NNE	3.3
下	-2.2	-5.0	2.8	2.0	-1.2	3.2	-7.7	-10.1	2.4	7.5	23.3	△15.8	4	6	△2	40.7	25.7	15.0				NE	2.8
3月 上	-3.4	-4.5	1.1	-0.1	-1.2	1.1	-7.3	-8.7	1.4	8.5	19.2	△10.7	5	6	△1	44.1	39.2	4.9				NW	2.8
中	-0.5	-1.5	1.0	2.6	1.9	0.7	-4.4	-5.5	1.1	18.5	18.9	△0.4	6	5	1	44.6	42.6	2.0				SW	4.1
下	-0.6	-0.2	△0.4	2.8	2.7	0.1	-4.3	-3.2	△1.1	5.5	18.6	△13.1	3	5	△2	83.1	44.9	38.2				W	2.8
4月 上	5.2	1.7	3.5	8.9	5.3	3.6	0.9	-2.1	3.0	6.0	10.1	△4.1	5	4	1	74.9	52.7	22.2				SW	4.6
中	4.4	4.4	0.0	8.2	8.5	△0.3	0.3	0.4	△0.1	29.5	15.0	14.5	4	4	1	46.4	56.2	△9.8				NW	4.1
下	5.3	5.6	△0.3	8.6	10.0	△1.4	2.4	1.5	0.9	17.0	22.4	△5.4	5	4	1	38.2	55.5	△17.3	3.1	4.5	△1.4	ESE	4.5
5月 上	5.4	7.5	△2.1	8.5	12.0	△3.5	3.0	3.1	△0.1	39.5	21.4	18.1	5	4	1	27.4	53.8	△26.4	4.2	5.9	△1.7	E	3.8
中	7.4	9.4	△2.0	11.5	14.0	△2.5	3.9	4.8	△0.9	24.0	20.0	4.0	5	3	2	53.7	58.8	△5.1	5.3	7.2	△1.9	E	3.9

注1) 平年値は前10か年の平均値。

2) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

3) △印は対平年値比減を示す。

4) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

C. 主要気象要素積算値 (4月21日～5月20日)

	平均気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (°C)
本年	181	81	119.3	126
平年	225	64	168.0	175
比較	△ 44	17	△ 48.7	△ 49.4

## Ⅱ 作 況

### 1. 採草型 チモシー（1番草）

作況：やや不良

事由：融雪期が平年より8日早く、かつ4月上旬の気温が平年より高かったことから、萌芽期は平年より14日早かった。しかし5月上旬以降の気温が平年より低く推移したため、生育は停滞し、5月20日現在の草丈は平年より7cm低かった。

以上より、目下の作況はやや不良である。

調査項目：

萌芽期（月・日）			冬損程度(1無微～9甚)			草 丈（cm）		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
4.12	4.26	△14	1.0	1.0	0.0	20	27	△ 7

注）平年値は前7か年のうち、平成20年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。

### 2. 放牧型 ペレニアルライグラス（1番草）

作況：不良

事由：本年は冬損程度がやや低く、萌芽期は14日早かったが、5月上旬以降の低温傾向により生育は停滞した。そのため、1番草乾物収量は平年の59%にとどまった。

以上より、目下の作況は不良である。

調査項目：

萌芽期（月・日）			冬損程度(1無微～9甚)			草 丈（cm）		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
4.13	4.27	△14	1.5	2.4	△0.9	19	23	△ 4

生草収量（kg/10a）			乾 物 率（％）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
219	381	△162	17.9	21.0	△3.1	39	66	△ 27	59 %

注）平年値は前7か年のうち、平成18年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。

### Ⅲ 作況調査耕種概要

#### 1. 供試草種・品種および播種量

利用形態	草種	品種	播種量
採草型	チモシー	ノサップ	1.5 kg/10a
放牧型	ペレニアルライグラス	ポコロ	2.0 kg/10a

#### 2. 栽培条件および調査方法

##### 1) 施肥量 (kg/10a)

	造成時・早春			各刈取後			年間合計		
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O
1年目 採草型チモシー	4.0	20.0	6.0	4.0	1.5	3.8	(刈取回数による)		
放牧型ペレニアルライグラス	4.0	20.0	6.0	3.0	1.0	2.5	(刈取回数による)		
2年目 採草型チモシー	8.0	3.0	7.5	4.0	1.5	3.8	16.0	6.0	15.1
放牧型ペレニアルライグラス	3.0	1.0	2.5	3.0	1.0	2.5	18.0	6.0	15.0

注) 1年目は造成時に炭カル200kg/10a、堆肥2t/10aを施用。

2) 調査対象：2年目草地（平成22年6月16日播種）。

3) 播種法：条播、畦幅30cm×畦長4m、1区12畦。

4) 刈取スケジュール

採草型：年3回刈取。1番草は出穂始の5日後、以後は前番草刈取から約50日後。

放牧型：年6回、5月から10月まで毎月20日刈取。

5) 調査項目：萌芽期、冬損程度、出穂始（チモシーのみ）、収穫期、草丈（毎月20日及び各刈取時）、生草収量、乾物率、乾物収量。